

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	27	個別の日々の様子を記録しているが、記入漏れがあったり、職員間での共有ができていない時がある。	利用者様の様子や気付きをきちんと把握し、記録をして情報の共有を図る。	記録を書く癖をつける。 記録にきちんと目を通す。 共有した内容をどう活かすか話し合う。	6ヶ月
2	31	施設内に看護師が常時待機していないので、情報や気になる点について報告や相談が遅くなってしまう。	利用者様の変化や気付きを看護師に報告し、早期に適切な看護や受診ができる。	変化や気付きを早期に看護師に伝える。 指示を他職員と共有し支援する。 定期的に利用者様について報告する。	6ヶ月
3	36	利用者様に対して、排泄時について大きな声で確認したり、くだけた言い方をしたりなど、配慮が足りない場面がある。	プライバシーが守られ、一人ひとりの人格を尊重した関わり方をする。	大きな声ではなく、耳元で囁くなど配慮する。 ゆっくりと丁寧に話す。 新人職員や理解が不十分な職員には個別に指導する。	6ヶ月
4	38	利用者様の日々の暮らしをそれぞれの方に合わせて過ごして頂いているが、全てではなく、職員優先になっている事もある。	なるべく1日を通じてご自分のペースで過ごして頂く。	その日の様子に合わせて支援内容を変える。 定期的な見守りや声かけでなるべくしたい事ができる環境を作る。 安心して過ごせる環境を作る。	6ヶ月
5	46	夜間なかなか眠れない利用者様がある。	安心して気持ち良く眠れるよう支援する。	一人ひとりの睡眠パターンを把握し、職員間で共有する。 日中の過ごし方を見直し、検討・実践する。 夜間の環境を整える(室温・明るさ・音など)	6ヶ月
6	55	利用者様一人ひとりが自立した生活が送れるよう工夫しているが、安全を重視し過ぎていたり、過介助になっていたりする事がある。	安全で自立した生活が送れるようにする。	その方の心身の状態や気持ちを把握する。 状態の変化に伴い、その都度支援内容を検討・変更する。 その方のできる事、分かる事を職員間で共有し、統一したケアの実践に努める。	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。